

「令和元年度千葉県農林水産就業相談会」の開催

公益社団法人 千葉県園芸協会
千葉県青年農業者等育成センター

農業・林業・水産業への就業を希望する人に対して、関係機関・団体が一堂に会して新規就業に係る情報提供や個別相談を行うことにより、農林水産業への参入を促し、本県の第一次産業を支える多様な担い手の確保を目的とした相談会を11月23日（土・祝）午前10時から午後3時に、千葉市「蘇我コミュニティセンター」4階多目的ホールで実施しました。本年度は21の機関・団体からの参加者46名が協力して行われました。この相談会は今回で11回目を迎え、この種の相談会として定着しており、関係者からは更なる継続が望まれています。しかし、国内各地で実施されている同種の相談会では来場者の減少傾向が見られます。そのため、インターネットをはじめとして、電車内吊り広告、マスコミ、農業関連の学校関係、県民だより、公設の掲示板等を使った広報活動を行いました。その結果、終日雨天の生憎の天候でしたが、50名の方が相談に訪れました。また、マスコミや関係機関（農業事務所、JA等）からも12名の参加がありました。

相談会は、参加機関・団体の経験豊富な職員が相談員として16のブースで待機する相談会場と、3名の先輩就農者の就農時の苦労と喜びが聞ける体験発表会場に分けて行われ、相談会場では相談員に真剣に向き合う姿が、また、体験発表会場では先輩就農者の話を熱心に聞く姿が見られました。来場者は、学生から60代後半の方まで幅広く、男女構成は男性が74%、女性が26%で、住所は県内84%、県外16%で、最も遠方からの来場者の住所は大阪でした。また、各相談ブースを訪れた回数は平均約2.1回/人で、訪問者が比較的多かったのは総合相談ブース（13名）、研修・技術習得・経営相談を担当したNPO法人ちば農業支援ネットワーク・農業大学のブース（12名）等でした。

会場全景



先輩就農者の体験発表



相談会場

